

7

カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD の使い方

Windows 98 / 95 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。
Windows 2000 / NT モデルにはリカバリ CD が同梱されています。
本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使い方について説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD / リカバリ CD とは 178
- 2** 標準システムを復元する 179
- 3** 最小構成でシステムを復元する 182
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 / 95 モデル)..... 183

① カスタム・リカバリCD / リカバリCD とは

① カスタム・リカバリCD とは (Windows 98 / 95 モデル)

Windows 98 / 95 モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバCD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。

標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

最小構成でシステムを復元する

Windows およびデバイスドライバを復元します。アプリケーションなどはインストールされません。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する」

アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする」



メモ

・ カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCD とは (Windows 2000 / NT モデル)

Windows 2000 / NT モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000 / NT モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーションCDをセットし、表示される画面をご覧ください。



メモ

・ リカバリCD / アプリケーションCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

2

標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

Microsoft Office^(*) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft[®] Office 2000 Personal CD-ROM
- Microsoft[®] / Shogakukan Bookshelf[®] Basic CD-ROM



・ **2000** **NT** ご購入時のパーティション設定は、最初の 4GB が NTFS (C:) で、残りは空き領域となっています。空き領域を使用するには、「ディスクの管理」(**NT** ディスクアドミニストレータ) を使用してください。

2 操作手順

Windows 98 / 95 モデルの場合

! 注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
・復元を行うと、セットアッププログラムの設定内容は標準値に戻ります。

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 3 キーボードの **[C]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 **[1]** キーを押す
「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 5 **[1]** キーを押す
クイックフォーマットをする場合は、**[2]** キーを押してください。
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

7
章
カスタム・リカバリCD
/ リカバリCDの使い方

6 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。

7 CDを入れ替えるメッセージが表示された場合、次のCDをセットし、何かキーを押す

処理が続きます。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるとき」

Windows 2000 / NT モデルの場合



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

・復元を行うと、セットアッププログラムの設定内容は標準値に戻ります。

1 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」をセットして、パソコンの電源を切る

2 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。

3 キーボードの[C]キーを押しながら、パソコンの電源を入れる

「In Touch with Tomorrow TOSHIBA」の文字が表示されたら、キーを離します。

「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。

4 表示される画面の指示に従って操作する

システムの選択画面が表示された場合は、復元するシステムを選択してください。

CDを入れかえるメッセージが表示された場合、次のCDをセットし、キーを押してください。処理が続きます。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

5 CDを取り出し、キーを押す

システムが再起動します。

6 Windowsのセットアップを行う

「2章 2 初めて電源を入れるとき」のWindows 2000またはWindows NTのセットアップの手順4から操作を行なってください。

Microsoft Office^(*) のセットアップ CD が同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*) は、以上の手順では復元されません。

Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されているインストール手順書を参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft[®] Office 2000 Personal および Shogakukan Bookshelf[®] Basic

③ 最小構成でシステムを復元する

Windows 98 / 95 モデルでは、Windows およびデバイスドライバを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたアプリケーションなどはインストールされません。



メモ

・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

① 準備

次のものを使用します。

Product Recovery CD-ROM

取扱説明書（本書）

② 操作手順



注意 ・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 パソコンをご購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずしてください。
- 3 キーボードの **[C]** キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 4 **[2]** キーを押す
「フォーマットの方法を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 5 **[1]** キーを押す
クイックフォーマットをする場合は、**[2]** キーを押してください。
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 6 **[Y]** キーを押す
処理を中止する場合は、**[N]** キーを押してください。
ハードディスクをフォーマットした後に、復元を開始します。
- 7 CD を入れ替えるメッセージが表示された場合、次の CD をセットし、何かキーを押す
処理が続きます。復元が完了すると、終了画面が表示されます。
- 8 CD を取り出し、何かキーを押す
システムが再起動します。
- 9 Windows のセットアップを行う
☞ Windows のセットアップについて ⇨ 「2 章 2 初めて電源を入れるとき」

4 アプリケーションを再インストールする(Windows 98 / 95モデル)

Windows 98 / 95モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションを指定して再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

ここでは、「東芝ユーティリティ」を再インストールする方法を例にして、操作手順を説明します。ほかのアプリケーションを再インストールするときは、手順3、手順4でインストールするアプリケーションをクリックし、画面の指示に従って操作してください。ドライバを再インストールするときは、手順2で[ドライバ]をクリックし、画面の指示に従ってください。

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」をセットする
- 2 [アプリケーション] をクリックする
[アプリケーション] 画面が表示されます。
[アプリケーション] の画面は左右二つに分かれています。
左側にアプリケーションの一覧、右側にアプリケーションの説明が表示されます。
- 3 画面左側のアプリケーションの一覧から「東芝ユーティリティ」をクリックする
- 4 画面右側の [東芝ユーティリティのセットアップ] をクリックする
[ファイルのダウンロード] 画面が表示されます。
- 5 [このプログラムを上記の場所から実行する] にチェックをつける
- 6 [OK] ボタンをクリックする
[ようこそ] 画面が表示されます。
- 7 [次へ] ボタンをクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
完了すると、[セットアップの完了] 画面が表示されます。
- 8 [はい、直ちにコンピュータを再起動します] にチェックをつける
- 9 CD-ROM 装置から「アプリケーション & ドライバ CD-ROM Disk1」を取り出す
フロッピーディスク装置にフロッピーディスクが入っている場合は、取り出してください。
- 10 [終了] ボタンをクリックする
パソコンが再起動されます。

8

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときは	186
----------	--------------	-----



1 困ったときは

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解消法のヒントをご紹介します。オンラインマニュアルをご覧になれる状態のときは、《オンラインマニュアル 困ったときは》もご覧ください。

1 Q & A を見る前に

設定の確認によく使う、[コントロールパネル]の開き方を説明します。

● 方法 1 - [スタート]メニューから開く

- 1 [スタート] ボタンをクリックする
- 2 [設定] にマウスポインタを合わせる
- 3 [コントロールパネル] をクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

● 方法 2 - [マイコンピュータ]から開く

- 1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする
[コントロールパネル] が開きます。

2 Q & A 集

● 電源を入れるとき / 切るとき...

- 電源が入らない / システムが起動しない 188
- 自動的にプログラムが実行されるのをやめたい 190
- 電源が切れる 191
- 電源が切れない 191
- 電源が入ってしまう 192

● 表示・画面について

- 画面に何も表示されない 192
- 画面が見にくい 193
- 表示自動停止機能が働かない 196
- タスクバーの表示 197
- ファイルが見つからない 198

● アプリケーションについて

- アプリケーションが使えない 198

● 印刷について	199
● キーボード・マウス・アキュポイント について	
● 思うように文字が入力できない	200
● マウスが使えない.....	202
● 周辺機器についてのトラブル	
● フロッピーディスクについて	205
● CD-ROM 装置について	207
● PC カードについて	208
● LAN 機能が使えない	210
● USB 機器について	212
● 音量について	
● スピーカから音が聞こえない	213
● おかしな音が聞こえる	215
● 調子がおかしい！	
● テレビ、ラジオに障害が出る	216
● ハイバネーション機能が使えない.....	216
● パソコンの動作がおかしい	217
● その他調子がおかしい	219
● 不明なメッセージが出た！	
.....	220
● 異常や故障の場合	
.....	222
● 東芝 PC サービス・サポートのご案内	
.....	222

● 電源を入れるとき / 切るとき...

● 電源が入らない / システムが起動しない



パソコンの電源が入らない



電源スイッチがロックされている

電源スイッチロックを左側にしてロックを解除し、再度電源スイッチを押してください。



電源スイッチを押す時間が短い

電源スイッチをしばらく押し続けてください。



一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

-Battery LED がオレンジ色に点滅している場合-



バッテリーの充電量が少ない

次の操作を行なってください。
本製品用の AC アダプタを接続する
他機種用の AC アダプタは使用できません。
充電済みのバッテリーパックを取り付ける



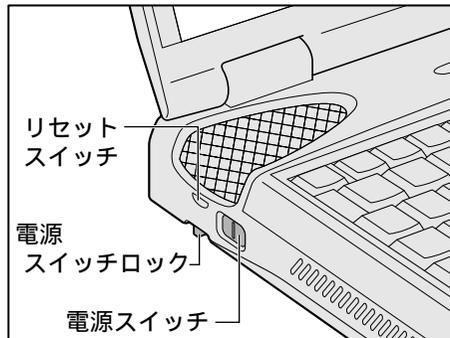
一度電源が入りかけるが、すぐに切れる

-DC IN LED がオレンジ色に点滅している場合-



電源の接触が悪い

次の操作を行なってください。
AC アダプタを抜き差ししてみる
バッテリーパックを抜き差ししてみる
リセットスイッチを押す
先の細い、丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。



**危険防止機能が働いた**

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

**電源を入れたが、システムが起動しない****ハイバネーション機能による起動ができなくなった  **

ハイバネーション機能によるパソコンの起動をせずに、システムを再起動してください。

次の手順で起動できます。この場合、ハイバネーション機能によって保存されたデータは失われます。

1. 電源を切る
2. **[BackSpace]** キーを押しながら、電源スイッチを押す
次のメッセージが表示されます。

「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE.」

3. 何かキーを押す

**システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている**

フロッピーディスクを取り出してから、パソコンを再起動してください。

**リセットスイッチを押してもハイバネーションの画面の後にシステムが停止してしまい、キー操作ができない  ****電源を切り、**[BackSpace]** キーを押しながら電源を入れる****「Windows が正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクが始まる  ****前回使用したときに、Windows の終了手順に従わずに電源を切った**

スキャンディスク後、ハードディスクに異常がなければ、Windows が起動します。

正常に起動しなかった場合は、画面の指示に従って操作を行なってください。

● 自動的にプログラムが実行されるのをやめたい



Windows の起動と同時にプログラムが実行されるのをやめたい



[スタートアップ] に登録されている

次の手順で設定を変更してください。

98 95

1. [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
2. [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] をクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
3. [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
4. 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
5. [閉じる] ボタンをクリックする

2000

1. [スタート] - [設定] - [タスクバーと [スタート] メニュー ...] をクリックする
2. [詳細] タブで [削除] をクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
3. [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
4. 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
5. [はい] ボタンをクリックする
6. [閉じる] ボタンをクリックする

NT

1. [スタート] - [設定] - [タスクバー] をクリックする
2. [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] をクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
3. [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
4. 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
5. [はい] ボタンをクリックする
6. [閉じる] ボタンをクリックする

● 電源が切れる

 パソコン使用中に電源が切れる

 危険防止機能が働いた

パソコンを移動するなど、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。パソコンの内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムを自動停止します。使用できる環境温度は5～35℃です。温度の低い場所に移動しても、電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

 警告音が鳴り、Battery LED が消灯した

 バッテリーの充電量が少なくなった

次の操作を行なってください。
ACアダプタを接続する
充電済みのバッテリーパックを取り付ける

● 電源が切れない

 電源スイッチを押しても電源が切れず、「ピッピッピッ...」と音が鳴り続ける

 次の操作を行なってください。

電源スイッチを5秒以上押す
リセットスイッチを押す
ACアダプタ バッテリーパックの順に取りはずし、再度、バッテリーパック ACアダプタの順に取り付ける

 システム自動オフ機能を設定していても、電源が切れない( 95)

 CD-ROMの自動挿入の設定がされている

Windowsのデバイスマネージャで、自動挿入の設定を解除してください。

● 電源が入ってしまう

 自動的に電源が入ってしまう

 **98**

Windows のタスクスケジューラが設定されている
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [タ
スク] をクリックし、設定されているプログラムを削除してください。

 **95** **NT**

省電力ユーティリティで「タイマオン機能」が設定されている
省電力ユーティリティの [タイマオン機能] タブで設定をオフにしてください。
☞ 省電力ユーティリティ ☜ 「5 章 1 消費電力を節約する」

 **2000** **NT**

セットアッププログラムで「Auto Power On 機能」が設定されていた
セットアッププログラムの設定を解除してください。
☞ セットアッププログラム ☜ 「6 章 セットアッププログラム」

● 表示・画面について

● 画面に何も表示されない

 画面に何も表示されない

-Power LED が点灯していない、またはオレンジ点灯している場合-

 電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっている (**98** **2000**)
電源スイッチを押してください。

 画面に何も表示されない

-Power LED が点灯している場合-

 表示自動停止機能が働いた

次の操作を行なってください。

[Shift] キーや [Ctrl] キーを押す

マウスやアキュポイント を動かす



メモ

・CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあり
ますが、故障ではありません。



インスタントセキュリティ（表示自動停止）機能が働いた

次の操作を行なってください。

パスワードを設定していない場合

Enter キーまたは **F1** キーを押す

パスワードを設定している場合

パスワードを入力し、**Enter** キーを押す

☞ パスワード ☞ 「6章 2 パスワードセキュリティ」



メモ

- ・パスワードを忘れた場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。



表示装置が外部 CRT に設定されている

次の手順で表示装置を切り替えてください。

Fn + **F5** キーを押す

押すごとに次の順で表示が切り替わります。

↑LCD LCD / CRT CRT↓

● 画面が見にくい



画面が見にくい



ディスプレイを見やすい角度に変える



コントラストダイヤルで調整する（DSTN モデルの場合）



CRT ディスプレイの画面の色がにじんだように表示される



ほかの電気製品の影響を受けている

テレビ、オーディオ機器のスピーカーなど強力な磁気を発生する電気製品から遠ざけてください。



メモ

- ・高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。



画面が暗い



画面の輝度（98：8段階、95：4段階、2000：3段階、NT：8段階）を変更する

次の手順で設定を変更してください。

方法 1- 省電力ユーティリティで変更する



1. [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
2. [詳細] ボタンをクリック後、[省電力] タブを選択する
3. [モニタの輝度] で設定する
4. [適用] ボタンをクリックする
5. [OK] ボタンをクリックする



1. [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
2. [詳細設定] ボタンをクリック後、[ディスプレイ] タブを選択する
3. [輝度設定] で設定する
4. [適用] ボタンをクリックする
5. [OK] ボタンをクリックする

方法 2- [Fn] キーを使用する（）

1. [Fn] + [Esc] キーを押す
設定されている輝度の値が反転表示されます。
2. [Fn] キーを押したまま [Esc] キーを押し直す
[Esc] キーを押すたびに輝度の値が切り替わります。
3. [Fn] キーを離す
2 で表示された輝度に切り替わります。



サイドライト用の冷陰極管が消耗している



お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。



メモ

- ・ディスプレイに装着されているサイドライト用のFL管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。画面の輝度を変更しても暗い場合は、長期間のご使用によりサイドライト用の冷陰極管が消耗していることが考えられます。

画面の外に黒い枠が表示される

低い解像度で設定されている

[画面のプロパティ]で領域サイズを変更してください。

98 2000

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [設定]タブの[画面の領域]で領域サイズを変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

95

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [ディスプレイの詳細]タブの[デスクトップ領域]で領域サイズを変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

NT

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [ディスプレイの設定]タブの[デスクトップ領域]で領域サイズを変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

色が汚い

少ない色数で設定されている

次の手順で設定を変更してください。

98

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [設定]タブで[色]を[HighColor]や[TrueColor]に変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

95

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [ディスプレイの詳細]タブで[カラーパレット]を[HighColor]や[TrueColor]に変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

2000

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [設定]タブの[画面の色]で変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

NT

1. [コントロールパネル]を開き、[画面]をダブルクリックする
2. [ディスプレイの設定]タブで[カラーパレット]を[65536]や[TrueColor]に変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする



メモ

・解像度によっては[HighColor]や[65536]、[TrueColor]に設定できません。



画面の領域や色を変更できない



ディスプレイの設定が合っていない

次の手順でディスプレイの設定を確認してください。

1. [コントロールパネル]を開き、[システム]([画面])をダブルクリックする
2. [デバイスマネージャ]タブで[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する
 [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]ボタンをクリックし、[ディスプレイアダプタ]が正しく設定されているか確認する
 [ディスプレイの設定]タブで[アダプタの種類]ボタンをクリックし、[ディスプレイ]が正しく設定されているか確認する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

● 表示自動停止機能が働かない



画面の表示自動停止を設定しても自動オフしない



MS-DOS プロンプトがアクティブになっている

MS-DOS プロンプトを終了する

MS-DOS プロンプトを最小化する

● タスクバーの表示



スタートボタン / タスクバーが表示されない



タスクバーの高さを低く設定している

次の手順で高さを調節してください。

1. マウスポインタを画面下に移動する
2. マウスポインタの形状が上下 (↑ ↓) の矢印に変わったら、アキュポイントとコントロールボタンの上ボタンを押しながら、またはマウスの左ボタンを押しながら上下方向にドラッグする
3. 適度な位置でコントロールボタンの上ボタン、またはマウスの左ボタンを離す



タスクバーが [自動的に隠す] という設定になっている

次の手順で常にタスクバーを表示する設定に変更してください。

1. マウスポインタをタスクバー上に移動し、右クリックする
2. 表示される項目から [プロパティ] をクリックする
3. [自動的に隠す] のチェック () をはずす
4. [適用] ボタンをクリックする
5. [OK] ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じる



使用していたウィンドウが見えなくなった



他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっている

タスクバーに表示されている使用していたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。

他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっていた場合は、一番手前に表示されます。

● ファイルが見つからない

 ファイルを保存した場所がわからない

 [検索] 機能を使って検索する

次の手順で検索してください。

1. [スタート] - [検索] - [ファイルやフォルダ] をクリックする
2. [名前と場所] タブの [名前] の右の欄 ( 検索) 画面の [ファイルまたはフォルダの名前] の下の欄) に探したいファイルの名前を入力する
3. [探す場所] の  をクリックし、一覧から探したい場所をクリックし、[検索開始] をクリックする
ファイルの検索が始まり、しばらくすると検索結果が表示されます。
4. 目的のファイルを開く

● アプリケーションについて

アプリケーションの使い方については、『アプリケーションに付属の説明書』、またはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

● アプリケーションが使えない

 アプリケーションが使えない

 正しくインストールしていない

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。

 アプリケーションがシステムに対応していない

アプリケーションによっては、使用できるシステム (OS) が限られている場合があります。

☞ 『アプリケーションに付属の説明書』

 メモリが足りない

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。

☞ メモリの増設 ☞「4 章 6 増設メモリ」

 システム構成を変更していない

アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。

『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。



あらかじめインストールされていたアプリケーションを削除してしまった添付のCD-ROMから再インストールしてください。

98 95

「アプリケーション&ドライバCD-ROM」を使用して再インストールします。本製品にあらかじめインストールされているアプリケーションやドライバは、削除してしまった場合も、再インストールできます。

☞「7章 4 アプリケーションを再インストールする」

2000 NT

「アプリケーションCD」を使用して再インストールできます。あらかじめ「アプリケーションCD」にインストールされているアプリケーションは何度でも再インストールできます。

印刷について



印刷ができない



プリンタの電源が入っていない

次の操作を行なってください。

パソコン本体の電源をいったん切り、プリンタ、パソコン本体の順で電源を入れ直す

接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていない
正しく接続し直してください。



接続しているプリンタと違うプリンタを設定している

プリンタの設定を確認してください。

1. [スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックする
2. 接続しているプリンタのアイコンを右クリックする
ショートカットメニューが表示されます。
3. 「通常使うプリンタに設定」にチェック () をつける



最後まで正しく印刷できない



ECPに対応していないプリンタを使用している

次の手順でプリンタのモードを双方向に設定してください。

98 95

1. [コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする
2. [Parallel/Printer] タブで [Parallel Port Mode] を [Standard Bi-directional] に設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

2000 NT

1. [コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする
2. [プリンタ]タブで[プリンタポートモード]を[双方向]に設定する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする



プリンタドライバを更新する

ドライバの入手方法については、プリンタの製造元にご確認ください。

98 2000 Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、ドライバを更新できる場合があります。



上記のすべてを行っても印刷できない



Windowsを終了し、パソコンを再起動する



前述のどれを行っても印刷できない



プリンタのセルフテストを実行する

● キーボード・マウス・アキュポイント について

● 思うように文字が入力できない



キーボードのキーを押しても文字が表示されない



システムが処理中である

マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、キーボードまたはマウスの操作を受け付けられないことがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



半角の「~」(チルダ)が入力できない



Shift +  キーを押す



キーボードの印刷通りに「£」、「¢」、「々」などの文字が入力できない



本製品で使用している OADG 規格のキーボードの場合、上記の文字は直接入力できません。

詳しくは、お使いの日本語入力システムに付属の説明書をご覧ください。
なお、本製品に標準装備している MS-IME では、次の読みで入力すると変換できます。

- ・ £ ... 「ぼんど」または「たんい」
- ・ ¢ ... 「せんと」または「たんい」
- ・ 々 ... 「おなじ」または「きごう」



キーを押しても希望の文字が入力できない



文字ロックの状態が合っていない

キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。

[Shift] + [CapsLock英数] キーや、[Fn] + [F11] キー、[Fn] + [F10]

キー、[Ctrl] + [カタカナ/ひらがな] キーを使って、文字ロックの状態を合わせてから入力してください。

[Ctrl] + [Shift] + [カタカナ/ひらがな] キーや、[Fn] + [F11] キー、[Fn] + [F10] キー、を使って、文字ロックの状態を合わせてから入力してください。

☞ 「1章 6 キーボード」



キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう



キーボードドライバが正しく設定されていない

次の手順で設定を変更してください。

1. [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
2. [デバイスマネージャ] タブで [キーボード] を [106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl + 英数)] に設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

1. [コントロールパネル] を開き、[キーボード] をダブルクリックする
2. [入力ロケール] タブで規定値を日本語に設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする



1. [コントロールパネル]を開き、[キーボード]をダブルクリックする
2. [全般]タブで[キーボードの種類]を[PC/AT 106 Japanese (A01) Keyboard]に設定する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする



[Alt] + [半/全] キーを押しても、漢字モードにならない



日本語入力システムが組み込まれていない
日本語入力システムを組み込んでください。



キーボードドライバが正しく設定されていない
キーボードドライバの設定を確認してください。
☞ 「Q. キーに印刷された文字と違う文字が入力されてしまう」



どのキーを押しても、反応しない
設定は合っているが、希望の文字が入力できない



内部処理が正しく行われなかった
次の操作を行なってください。
電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す
リセットスイッチを押す

● マウスが使えない



アキュポイント やマウスを動かしても画面のマウスポインタが動かない
(反応しない)



システムが処理中である
マウスポインタが砂時計の形をしている間は、システムが処理中のため、
キーボードやアキュポイント またはマウスの操作を受け付けられないとき
があります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。



PS/2 マウスが使えない



パソコン本体の電源を入れたまま接続した
次の操作を行なってください。
マウスを接続した状態で、電源を入れ直す
パソコン本体の電源を切ってマウスを抜き差しし、再度パソコン本体の
電源を入れる



新しいハードウェアとして認識されていない

次の手順でハードウェアウィザードを実行してください。

98 **95**

1. [コントロールパネル]を開き、[ハードウェアの追加](**95**[ハードウェア])をダブルクリックする
2. [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

2000

1. [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
2. [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
3. [マウスとそのほかのポインティングデバイス]を右クリックし、表示されるメニューで [ハードウェア変更のスキャン] をクリックする
画面の指示に従って操作してください。



アキュポイント と PS/2 マウスが同時に使用できない



[Toshiba Hardware Setup] (**2000** **NT**[HWセットアップ]) の設定が合っていない

次の手順で設定を変更してください。

98 **95**

1. [コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする
2. [Pointing Devices] タブで [Pointing Devices] を [Simultaneous] に設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

2000 **NT**

1. [コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ] をダブルクリックする
2. [ポインティング装置] を [同時使用] に設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする



メモ

・ただし、マウスによって、同時使用できない場合もあります。



シリアルマウスが使えない



シリアルマウスが認識されていない

次の操作を行なってください。

98 2000

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。

接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。

95

1. COMMS コネクタにマウスを接続し、電源を入れる
2. [コントロールパネル]を開き、[ハードウェア]をダブルクリックする
3. [次へ] ボタンをクリックする
4. [はい] にチェックがついていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする
5. [次へ] ボタンをクリックする
新しいハードウェアの検出が開始されます。
6. [完了] ボタンをクリックする
アキュポイント と同時に使えるようになります。

NT

パソコン本体の電源を切って、マウスを接続してください。

接続後、パソコン本体の電源を入れると、シリアルマウスが自動的に認識されます。表示される画面に従ってください。

シリアルマウスとアキュポイント が同時に使えるようになります。

上記の手順で認識されない場合は次の操作を行なってください。

[コントロールパネル]を開き、[マウス]をダブルクリックする

[デバイス] タブで [デバイスの変更] ボタンをクリックする

[デバイス情報] のメニューから COMMS コネクタに接続したデバイスを
選択する

[適用] ボタンをクリックする

● 周辺機器についてのトラブル

周辺機器については「4章 ハードウェアについて」もあわせてご覧ください。

● フロッピーディスクについて



フロッピーディスクに書き込み（保存）できない



フォーマットされていない

フォーマットされていないフロッピーディスクは書き込み（保存）できません。

☞ 「フォーマット」 ☞ 「4章 3-3 フロッピーディスクのフォーマット」



書き込み禁止状態になっている

フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。

☞ 「書き込み禁止状態」、「書き込み可能状態」

☞ 「4章 3-1 フロッピーディスク」



フロッピーディスクの空き容量が少ない

次の操作を行なってください。

不要なファイルを削除して、やり直す
別のフロッピーディスクを使用する



「ファイルが作れません」というエラーメッセージが表示された



ルートディレクトリに作成できるファイル数を超えた

新しくフォルダを作って、そこにファイルを作成してください。



ファイルが開けない

- 読み込みエラーやディスクエラーが表示される -



フロッピーディスク装置が故障している

他のフロッピーディスクで試してみてください。



フロッピーディスクに何らかの問題がある

次の手順でチェックしてください。

98 **95**

1. [スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[スキャンディスク]をクリックする
2. 「エラーチェックをするドライブ」欄で「3.5 インチFD (A:)」を選択する
3. [開始] ボタンをクリックする
スキャンディスクを開始します。



1. [マイコンピュータ]を開く
2. フロッピーディスクアイコンを右クリックし、表示されるメニューの [プロパティ] をクリックする
3. [ツール] タブで [チェックする] ボタンをクリックする
フロッピーディスクのチェックを開始します。



フォーマットに時間がかかる



Windows では、初めてフォーマットするフロッピーディスクの場合、時間がかかります。



FDD/CD-ROM LED が消えない



データを処理している

大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。LED が消えるまで待ってください。

どうしても消えないときは作業を中断し、リセットスイッチを押して再起動してください。

再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスに連絡してください。



フロッピーディスクからシステムが起動しない



システムが入っていないフロッピーディスクが挿入されている
システムが入ったフロッピーディスクと入れ替えてください。



初めに起動する装置がフロッピーディスク装置に設定されていない

次の操作を行なってください。

[F] キーを押したまま、電源スイッチを押す

[F2] キーを押したまま、電源スイッチを押し、[F] キーを押す

[Toshiba Hardware Setup] (2000 NT [HWセットアップ]) の設定を変更する

次の手順で行なってください。



1. [コントロールパネル] を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする
2. [Boot Priority] タブの [Boot Priority Options] で [FDD] が最初になるように設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

2000 NT

1. [コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする
2. [OSの起動]タブで[OSの起動]を[FDD]が最初になるように設定する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

● CD-ROM 装置について



CDにアクセスできない



ディスクトレイがきちんとしまっていない

カチッと音がするまで押し込んでください。

☞「CDのセット」☞「4章 4-2 CDのセットと取り出し」



CDがきちんとセットされていない

ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。



ディスクトレイ内に異物がある

異物があったら取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。



CDが汚れている

汚れているようなら、乾燥した布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水か中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。



CD-ROM装置がCDを認識していない

FDD / CD-ROM LEDが点滅している間は、まだ認識されていません。消灯するまで待って、再度アクセスしてください。



CD-ROM装置のレンズが汚れている

汚れを市販のレンズクリーナで取り除いてください。



CD-ROMをセットしても自動的に起動しない



自動起動に対応していないCD-ROMを挿入している

自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMの説明書などで確認してください。

対応していないときは、次の手順で起動することができます。

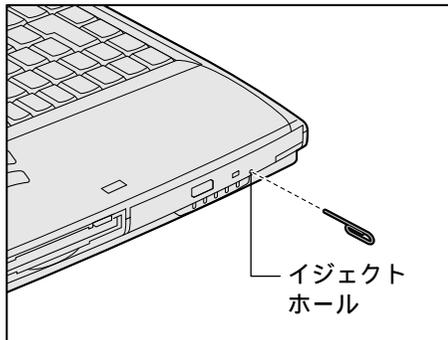
1. デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックする
2. CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックする

 CD が取り出せない

 パソコン本体の電源が入っていない
電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

 パソコン本体の電源が入らないため、CD が取り出せない

 CD-ROM 装置のイジェクトホールを先の細い丈夫なもの（例えばクリップを伸ばしたもの）で押してください。



PC カードについて

 PC カードの挿入が認識されない

 PC カードを奥までしっかり差し込む
イジェクトボタンが出てくるまで差し込んでください。
☞ 「PC カードの取り付け」 ⇄ 「4 章 5 PC カード」

 PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

 [Toshiba Hardware Setup] (  [HWセットアップ]) の設定が合っていない

[Toshiba Hardware Setup] (  [HWセットアップ]) の設定を変更してください。

1. [コントロールパネル] を開き、[Toshiba Hardware Setup] をダブルクリックする
2. [PC Card] タブで [PC Card Controller Mode] を変更する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

2000 **NT**

1. [コントロールパネル]を開き、[HWセットアップ]をダブルクリックする
2. [PCカード]タブで[PCカードコントローラ]を変更する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする



MS-DOS 上で使用しようとしている



本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS モードで PC カードをご利用いただくためのドライバはご用意しておりません。



デバイスとして認識されるが使用できない



IRQ が不足している

使用しないデバイスを [デバイスマネージャ] で使用不可 (**2000** 無効 **NT** 停止) にしてください。

98 **95**

1. [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
2. [デバイスマネージャ]タブで使用しないデバイスを使用不可にする
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

2000

1. [コントロールパネル]を開き、[システム]をダブルクリックする
2. [ハードウェア]タブで[デバイスマネージャ]をクリックする
3. 使用しないデバイスを右クリックし、[無効]をクリックする
4. [適用]ボタンをクリックする
5. [OK]ボタンをクリックする

NT

1. [コントロールパネル]を開き、[デバイス]をダブルクリックする
2. 使用しないデバイスをクリックし、[停止]をクリックする
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

PCカードが正常に動作しない ()

 省電力ユーティリティでPCカードが省電力設定になっている
次の手順で設定を変更してください。

98

1. [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
2. [詳細]ボタンをクリック後、[省電力]タブの[PCカード]を「オン」に設定する
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

95

1. [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
2. [詳細設定]ボタンをクリック後、[その他]タブで[PCカード(モデム/シリアル)を使用しないときはオフにする]のチェックをはずす
3. [適用]ボタンをクリックする
4. [OK]ボタンをクリックする

CardBusカードが認識されない ()

 HWセットアップの設定が合っていない
CardBusカードを使用する場合は、「HWセットアップ」の[PCカード]タブで[PCカードコントローラ]を[カードバス/16bit]に変更してください。

CardBusカードが認識されない ()

 HWセットアップの設定が合っていない
「SystemSoft CardWizard-Plus for Windows NT」に対応していない
CardBusカードを使用する場合は、[HWセットアップ]の[PCカード]タブで[PCカードコントローラ]を[カードバス/16bit]に変更してください。

LAN機能が使えない

 ネットワークに接続できない

 相手先のネットワーク機器(HUB)などの設定やケーブルの状態を確認する



Windows のネットワーク設定を確認する
ネットワーク管理者に確認してください。



LAN 機能が無効に設定されている ()
次の設定を確認してください。

1. [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
2. [デバイスマネージャ] タブで [ネットワークアダプタ] の左の + をクリックする
+ が - に変わり、項目が表示されます。
3. 表示された項目の中から、LAN 機能に該当する項目をクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする
本製品の LAN 機能に関する項目は、次の通りです。
「Toshiba Fast Ether LAN Adapter」
4. [全般] ([情報]) タブで [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] ([このハードウェア環境で使用不可にする]) のチェックをはずす
有効になると、アイコン上の × 印の表示が消えます。
5. [OK] ボタンをクリックする
[システムのプロパティ] 画面に戻ります。
6. [閉じる] ボタンをクリックする

1. [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
2. [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] をクリックする
3. [ネットワークアダプタ] の左の + をクリックする
+ が - に変わり、項目が表示されます。
4. 表示された項目の中から、LAN 機能に該当する項目を右クリックし、表示されるメニューの [有効] をクリックする
本製品の LAN 機能に関する項目は、次の通りです。
「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter(10/100)」
有効になると、アイコン上の × 印の表示が消えます。
5. [デバイスマネージャ] を終了する
6. [閉じる] ボタンをクリックする



ServicePack6 のセットアップを行う ()

☞ 「4章 7- Windows NT のネットワーク設定について」

● USB 機器について



USB 機器が使えない



WindowsNT を使用している

WindowsNT は USB をサポートしていません。



USB 機器がシステムに対応していない

USB 機器によっては、使用できるシステム (OS) が限られている場合があります。

☞ 『USB 機器に付属の説明書』



正しく接続されていない

ケーブルが、パソコン本体と USB 機器に正しく接続されているかどうか確認してください。



ドライバが正しくインストールされていない

ハードウェアウィザードを実行してください。

1. [コントロールパネル] を開き、次のアイコンをダブルクリックする

98: [ハードウェアの追加]

95: [ハードウェア]

2000: [ハードウェアの追加と削除]

2. [次へ] ボタンをクリックする

画面の指示に従って操作してください。



Windows を再起動する



ハイバネーションから復帰後、正常に動作しない ()



ハイバネーションに対応していない USB 機器を接続している

USB コネクタから 1 度はずし、再度接続してください。

● 音量について

● スピーカから音が聞こえない



スピーカから音が聞こえない



ヘッドホン出力端子にヘッドホンが挿してある
ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。



パソコン本体にあるボリュームダイヤルが小になっている
ボリュームダイヤルで音量を調節してください。



システムビープの設定がオフになっている
次の手順で設定を変更してください。

■ 98 ■ 95

1. [コントロールパネル]を開き、[Toshiba Hardware Setup]をダブルクリックする
2. [Hardware Alarm] タブで [System Beep] にチェックをつける
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

■ 2000

1. [コントロールパネル]を開き、[HW セットアップ]をダブルクリックする
2. [サウンド] タブで [システムビープを鳴らす] にチェックをつける
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

■ NT

1. [コントロールパネル]を開き、[省電力]をダブルクリックする
2. [設定変更] ボタンをクリックする
3. [その他] タブで [システムビープを鳴らす] にチェックをつける
4. [適用] ボタンをクリックする
5. [OK] ボタンをクリックする



タスクバーの [ボリュームコントロール] の設定が「ミュート」になっている

1. タスクバーの [スピーカ] アイコンをクリックする
2. [ミュート] にチェックがついている場合は、クリックし、チェックをはずす
3. つまみを上下ドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。



標準のデバイスドライバが組み込まれていない ()

[デバイスマネージャ] でサウンド、ビデオおよびゲームのコントローラを正しく設定してください。

1. [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
2. [デバイスマネージャ] でサウンド、ビデオおよびゲームのコントローラを正しく設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする



サウンドドライバがインストールされていない

サウンドドライバをインストールしてください。

アプリケーション & ドライバ CD-ROM から再インストールしてください。

☞ 「7章 4 アプリケーションを再インストールする」

詳しくは、アプリケーション CD をセットし、表示される画面をご覧ください。



標準の優先するデバイスが変更されている

次の手順で「優先するデバイス」を正しく設定してください。

1. [コントロールパネル] を開き、[マルチメディア] (サウンドとマルチメディア) をダブルクリックする
2. [オーディオ] タブの「再生」(音の再生) で「優先するデバイス」を正しく設定する
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする



サウンドレコーダーで録音した音声データの音質が悪い



録音時のサンプリング周波数が低い

次の方法で設定を変更してみてください。

1. [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [エンターテイメント] (マルチメディア) - [サウンドレコーダー] をクリックする
2. [ファイル] - [プロパティ] をクリックする
3. [詳細] タブをクリックし、[形式の変換] の [今すぐ変換] (変換) をクリックする

[サウンド名] 欄は、標準で「ラジオの音質」が設定されています。

4. [属性] 欄を選ぶ

CDの音質の場合の属性は、「44.100kHz、16ビット、ステレオ」です。これを目安に属性を選んでみてください。ただし高音質にすると、データ量が増大し、結果として録音できる時間は短くなります。例えばマイクロホンを使用して録音する場合は属性をモノラルにするなどして、なるべくデータ容量を押さえてください。

5. 属性が決まったら、[名前を付けて保存] ( 登録) ボタンをクリックし、[新しいファイル名] 欄に名前を入力し、[OK] ボタンをクリックする6. [サウンドの選択] [サウンドのプロパティ] ( Soundのプロパティ) 画面を [OK] をクリックして閉じる
サウンドレコーダーの画面に戻ったら、実際に録音して再生音をチェックしてください。

メモ

・サウンドレコーダーで新しい録音を開始すると、サウンドの選択は [ラジオの音質] ( NT 以前の設定) に戻ります。もう一度設定し直してください。

● おかしな音が聞こえる



本体からカリカリと変な音がする



ハードディスクが自動保存を行なっている

パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの作業をしています。その際ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。極端に異常な音が聞こえるときや、このような状態が頻繁に発生するときは、お買い上げの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。



甲高い音がする



ハウリングを起こしている

使用するソフトウェアによっては、外部マイクとスピーカとでハウリングを起こし、高く大きな音が出ることがあります。次の方法で調整してください。

- ・パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・使用するソフトウェアの設定を変える
- ・ボリュームコントロールの設定で調整する

● 調子がおかしい!

● テレビ・ラジオに障害が出る

 テレビ、ラジオの調子がおかしい

 次のことを行なってください。

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
- パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
- テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- 受信機に屋外アンテナを使う
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

● ハイバネーション機能が使えない

 ハイバネーション機能が使えない (  )

 ドライブCが圧縮されている
圧縮を解凍してください。

 ハイバネーション機能に対応していない周辺機器 (P C カードなど) を取り付けている
ハイバネーション機能に対応していない周辺機器を取りはずしてください。
☞ 「周辺機器の取りはずし」 ☜ 「4章ハードウェアについて」

 ハイバネーション用のファイルが壊れている ( )

次の手順でファイルを作成し直してください。

1. [スタート] メニューから [Windows の終了] - [MS-DOS モードで再起動する] を選ぶ
2. HALLOC [Space] /C [Enter] と入力する
3. EXIT [Enter] と入力する

 スタンバイ状態になってしまう ( )

 ハイバネーションの設定になっていない

次の手順で設定を変更してください。

確認 1- [電源の管理] ( 電源オプション) プロパティでの設定の確認

1. [コントロールパネル] を開き、[電源の管理] ( 電源オプション) をダブルクリックする
2. [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする
3. [適用] ボタンをクリックする
4. [OK] ボタンをクリックする

確認 2- 省電力ユーティリティでの設定の確認

1. [コントロールパネル] を開き、[省電力] をダブルクリックする
2. [電源設定] タブで設定する省電力モードを選び、[詳細] ボタンをクリックする
3. [動作] タブのそれぞれのメニューで [ハイバネーション] ( 休止状態) を選ぶ
4. [適用] ボタンをクリックする
5. [OK] ボタンをクリックする

 スタートアップにハイバネーション機能の妨げになるアプリケーションソフトが登録されている
スタートアップからアプリケーションソフトの登録をはずし、Windows を再起動してください。

パソコンの動作がおかしい

 バッテリーパックは充電したのに、すぐ Battery LED がオレンジ色に点滅する

 バッテリーパックの充電機能が低下している
別売りのバッテリーパックと交換してください。

 使用中に処理が遅くなる

 CPU の温度が上がった

CPU は高温になると、自動的に処理速度を下げます。しばらく作業を中止すると、CPU の温度が下がり、自動的に処理速度が元に戻ります。

使用中に操作できなくなった

次の操作を行なってください。

電源スイッチを押す

電源スイッチを5秒以上押し続けると電源が強制切断されます。再度電源スイッチを押すと、メモリテストから開始されます。

リセットスイッチを押す

リセットスイッチを押すと電源が強制切断されます。

電源をOFFにし、**BackSpace** キーを押しながら電源スイッチを押す
( )

BackSpace キーは [ハイパーネーションエラー] が表示されるまで押し続けてください。メモリテストから開始されます。

すべての電源を抜いて、再起動する

1. AC アダプタをはずしてから、バッテリーをはずす
電源がOFFになります。
2. バッテリーを取り付けてから、AC アダプタを取り付ける
3. 再度電源スイッチを押す
メモリテストから開始されます。

内蔵時計が合っていない

[日付と時刻] 画面で修正する

次の手順で行なってください。

1. [コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする
2. [時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする
「時 : 分 : 秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。
3. デジタル時計右端の上下のボタンで、時刻の修正を行う
4. [適用] または [更新] ボタンをクリックする
6. [OK] ボタンをクリックする

時計用バッテリーが充電されていない

パソコン本体の電源を入れて、しばらく時計用バッテリーを充電してください。

時計用バッテリーの充電機能が低下している

お近くの保守サービスにご連絡ください。



充電したはずのバッテリーパックを使用しても、パソコンの Battery LED がオレンジ色に点灯し、バッテリーがフル充電状態を示さない



長時間バッテリーパックを使用していなかった場合、新しいバッテリーパックと交換して充電する

それでも状態が変わらない場合は、故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

● その他調子がおかしい



調子がおかしい



ウィルスに感染している

ウィルスチェックソフトでウィルスチェックを行い、ウィルスが発見された場合は駆除してください。



強制終了し、再起動する

強制終了の方法は、次のとおりです。この場合、レジューム機能は無効になります。

98 95

1. **Ctrl** + **Alt** + **Del** キーを押す
[プログラムの強制終了]画面が表示されます。
2. **Alt** + **S** キーを押す
プログラムを強制終了します。パソコンを再起動してください。

2000 NT

1. **Ctrl** + **Alt** + **Del** キーを押す
[Windowsのセキュリティ]画面が表示されます。
2. **Alt** + **S** キーを押す
3. [シャットダウン]をクリックし、[OK]ボタンをクリックする
プログラムを強制終了します。パソコンを再起動してください。

不明なメッセージがでた！

ご使用のシステムやアプリケーションソフトの説明書をご覧になってもわからない場合、次の点をご確認ください。

 「Password = 」と表示される

 パスワードが設定されている

[Toshiba Hardware Setup] ([2000] [NT] [HWセットアップ]) またはパスワードセキュリティで設定したパスワードを入力し、[Enter] キーを押す

パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

☞ 「パスワード」 「キーフロッピーディスク」 ☞ 「6章 2 パスワードセキュリティ」

 「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

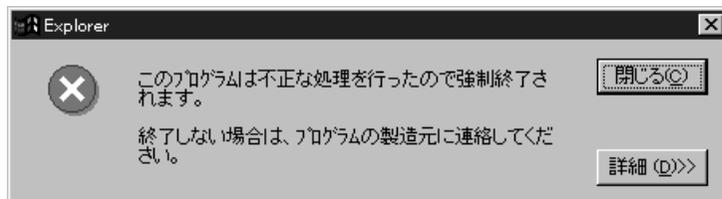
 Caps Lock の状態でパスワードを入力した

[Shift] + [Caps Lock 英数] キーを押して Caps Lock の状態を解除し、再度入力してください。

 「WARNING:CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE. PRESS ANY KEY TO CONTINUE」と表示された

 ハイバネーション機能が無効になったというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので...」というメッセージが表示された



(表示例)

 ソフトウェアの内部処理がうまくいかなかった

画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。



次のようなメッセージが表示された

- ・「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
- ・「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- ・「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
- ・「Boot: Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- ・「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
- ・「Cannot load DOS press key to retry」



システムディスクをセットし、何かキーを押す



フロッピーディスク装置からフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押す



「Boot sequence is changed.」と表示された



システム起動の順番が変更された
しばらくお待ちください。



C:¥WINDOWS>_ (  C:¥) と表示される



MS-DOS プロンプトが全画面表示されている

次の手順で MS-DOS プロンプト画面を終了してください。

1. C:WINDOWS>EXIT と入力する
2.  キーを押す

1.  +  キーで通常のウィンドウ表示を切り替える



「KBC ERROR」と表示された



PS/2 マウス、および PS/2 キーボードが接続されている場合は、電源を 1 度切り、取りはずしてから再度起動させる

それでも同じエラーが表示されるようであれば、本体の故障のおそれがあります。お近くの保守サービスにご連絡ください。



上記以外のメッセージが表示される



ご使用のシステムやアプリケーションに付属の説明書をご覧ください。

異常や故障の場合



異常な臭いや過熱に気づいた！



電源を切り、電源コードを抜く

お近くの保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）



操作できない原因がどうしてもわからない



東芝 PC ダイヤルにご連絡ください。

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・使用している機器の名称
- ・ご購入年月日
- ・現在の状態

東芝 PC サービス・サポートのご案内

東芝パソコンをより快適にお使いいただくために、サポート窓口、サービス制度をご用意しております。本製品に同梱の『東芝 PC サービス・サポートのご案内』をご覧ください。

付録

本製品の仕様について説明しています。

1	製品仕様	224
2	各インタフェースの仕様	230

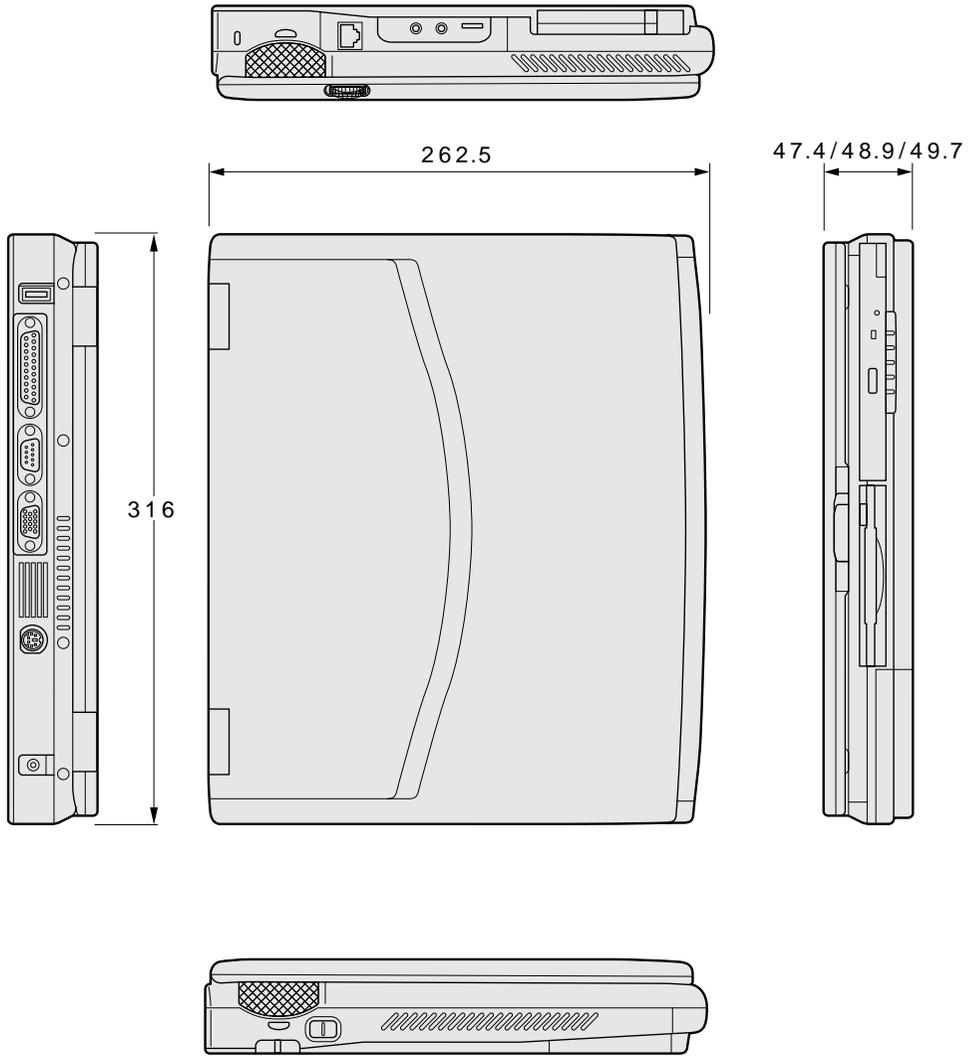


1

製品仕様

1 外形寸法図

本製品の外形寸法です。イラストは DSTN モデルです。



(単位 mm)

② サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。

本製品でサポートしている英語モード時の全てのビデオモードを次に示します。

モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	LCDの表示	CRTの表示	CRTリフレッシュレート(Hz)
0,1	VGAテキスト	40×25字	8×8	16/256K		70
2,3	VGAテキスト	80×25字	8×8	16/256K		70
0*,1*	VGAテキスト	40×25字	8×14	16/256K		70
2*,3*	VGAテキスト	80×25字	8×14	16/256K		70
0+,1+	VGAテキスト	40×25字	8(9)×16	16/256K		70
2+,3+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	16/256K		70
4,5	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	4/256K		70
6	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	2/256K		70
7	VGAテキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ		70
7+	VGAテキスト	80×25字	8(9)×16	モノクロ		70
D	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	16/256K		70
E	VGA グラフィックス	640×200 ドット	8×8	16/256K		70
F	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	モノクロ		70
10	VGA グラフィックス	640×350 ドット	8×14	16/256K		70
11	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	2/256K		60

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	LCDの表示	CRTの表示	CRTリフレッシュレート(Hz)
12	VGA グラフィックス	640×480 ドット	8×16	16/256K		60
13	VGA グラフィックス	320×200 ドット	8×8	256/256K		70
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	256/256K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	256/256K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	256/256K ^{*1}		60/75/85/87 ^{*3}
—	SVGA グラフィックス	1280×1024 ドット	—	256/256 K ^{*1*2}	256/256 K	60/87 ^{*3}
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	64K/64K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	64K/64K		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	1024×768 ドット	—	64K/64K ^{*1}		60/75/85/87 ^{*3}
—	SVGA グラフィックス	640×480 ドット	—	16M/16M		60/75/85
—	SVGA グラフィックス	800×600 ドット	—	16M/16M		60/75/85

* 1：実際の画面（800 × 600）内に、仮想スクリーン表示します。

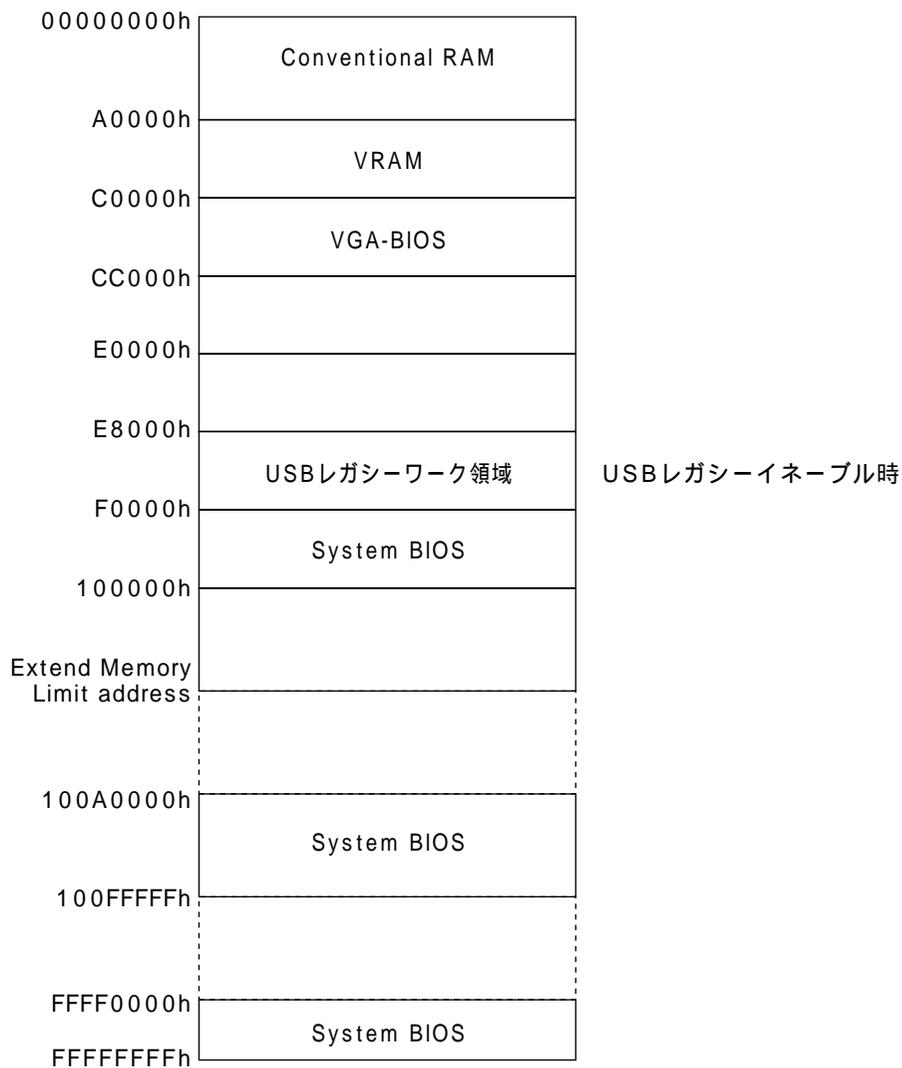
* 2：実際の画面（1024 × 768）内に、仮想スクリーン表示します。

* 3：インタレース表示です。

本製品のディスプレイは、640 × 480 ドットのモードを選択しても、SVGA のタイミングで動作しています。そのため、VGA 専用の CRT ディスプレイとの同時表示はできません。同時表示をする場合は、SVGA の CRT ディスプレイを使用してください。

③ メモリマップ

本製品では、メモリを次のように使用しています。



4 I/Oポートマップ

本製品を、標準のハードウェア構成で使用した場合のマップです。

000h	DMAコントローラ # 1
020h	IRQコントローラ # 1
040h	タイマ
060h	KBC
070h	NMIマスキレジスタ
	RTC
080h	DMAページレジスタ
0A0h	IRQコントローラ # 2
0C0h	DMAコントローラ # 2
0F0h	NDP
100h	
170h	CD-ROM
178h	
1F0h	HDC
1F8h	
200h	(Joystick)
220h	サウンド (SB Pro)
240h	サウンド (SB Pro)
260h	
278h	プリンタポート # 2
280h	
2A0h	
2E8h	シリアルポート # 4
2F0h	
2F8h	シリアルポート # 2
300h	
376h	CD-ROM
378h	プリンタポート # 1
388h	
3B0h	VGA
3BCh	プリンタポート # 3
3C0h	VGA
3E0h	東芝PCカード インタフェースコントローラ
3E8h	シリアルポート # 3
3F0h	FDC / HDC
3F8h	シリアルポート # 1
400h	
480h	DMA Hiページレジスタ
4A0h	
530h	サウンド (WSS)
538h	
604h	サウンド (WSS)
60Ch	
E80h	サウンド (WSS)
E88h	
F40h	サウンド (WSS)
F48h	

5 DMA 使用リソース

DMA		PIT
0	サウンド*	1
1	プリンタポート (ECP)、サウンド*	
2	FDC	
3	プリンタポート (ECP)、サウンド*	
4	Cascade for CTLR1	2
5	なし	
6	なし	
7	なし	

* サウンドドライバにより設定されます。

6 IRQ 使用リソース

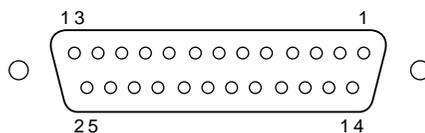
IRQ		PIT
0	タイマ (PIT)	#1
1	キーボード (KBC)	
2	IRQ8 ~ 15 PIT #2 入力	
3	COM1 ~ COM4、PCカード	
4	COM1 ~ COM4、PCカード	
5	サウンド、PCカード、COM1 ~ COM4、プリンタポート #2	
6	FDC	
7	プリンタポート #1、サウンド、PCカード、COM1 ~ COM4	
8	RTC	#2
9	ACPI	
10	PCカード、COM1 ~ COM4、サウンド	
11	PCI	
12	マウス	
13	NDP	
14	HDC	
15	CD-ROM	

② 各インタフェースの仕様

① PRT インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-STROBE	PD0～7のデータを書き込むための同期出力信号	O
2	PD0	PD0のデータを送信する信号	I/O
3	PD1	PD1のデータを送信する信号	I/O
4	PD2	PD2のデータを送信する信号	I/O
5	PD3	PD3のデータを送信する信号	I/O
6	PD4	PD4のデータを送信する信号	I/O
7	PD5	PD5のデータを送信する信号	I/O
8	PD6	PD6のデータを送信する信号	I/O
9	PD7	PD7のデータを送信する信号	I/O
10	-ACK	-STROBEに対するデータ受信完了信号	I
11	BUSY	データ受信できるかどうかを示すステータス信号	I
12	PE	用紙切れを知らせるステータス信号	I
13	SELCT	セレクト/ディセレクト状態を示すステータス信号	I
14	-AUTFD	自動用紙送り機構用信号	O
15	-ERROR	アラーム状態を示すステータス信号	I
16	-PINT	初期状態に戻す信号	O
17	-SLIN	未使用	O
18	GND	信号グラウンド	
19	GND	信号グラウンド	
20	GND	信号グラウンド	
21	GND	信号グラウンド	
22	GND	信号グラウンド	
23	GND	信号グラウンド	
24	GND	信号グラウンド	
25	GND	信号グラウンド	

コネクタ図



D-SUB 25ピンメス

信号名 : -がついているのは、負論理の信号です。

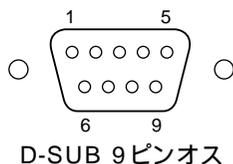
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

② COMMS インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グランド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

コネクタ図



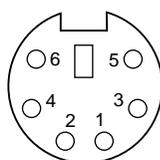
信号方向 (I): パソコン本体への入力

信号方向 (O): パソコン本体からの出力

③ PS/2 インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	MOUSDT	マウスデータ	I/O
2	EXTKBDT	キーボードデータ	I/O
3	GND	グランド	
4	VCC	5V	
5	MOUSCK	マウスクロック	I/O
6	EXTKBCK	キーボードクロック	I/O

コネクタ図



信号方向 (I): パソコン本体への入力

信号方向 (O): パソコン本体からの出力

4 RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	○
2	CGV	緑色ビデオ信号	○
3	CBV	青色ビデオ信号	○
4	ID2	モニタID2	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	IDO	モニタID	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	○
14	-CVSYNC	垂直同期信号	○
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

コネクタ図

高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

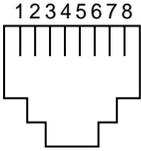
信号方向 (I) : パソコン本体への入力

信号方向 (O) : パソコン本体からの出力

5 LAN インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図



信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

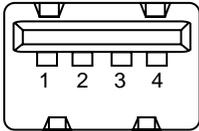
信号方向 (I): パソコン本体への入力

信号方向 (O): パソコン本体からの出力

6 USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+ 5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グランド	

コネクタ図



信号名 : - がついているのは、負論理の信号です。

信号方向 (I): パソコン本体への入力

信号方向 (O): パソコン本体からの出力



記号

 キーを使ったショートカットキー 40

A

ACアダプタ 23
 ACアダプタの取り扱い 28
 Administrator パスワードの設定 / 変更 ... 72
 Alarm Volume 164
 Alt キー 34, 35
 Arrow Mode LED 22
 Auto Power On 163

B

BackSpace キー 35
 BATTERY 158
 Battery LED 22
 Battery Save Mode 158
 BOOT PRIORITY 161
 Boot Priority 161

C

Caps Lock LED 22
 CapsLock 英数キー 34
 CD-ROM 装置 22, 107
 CD-ROM 装置の取り扱い 17
 CDのセット 108
 CDの取り扱い 16
 CDの取り出し 109
 COMMS インタフェース 231
 COMMS コネクタ 24
 CONFIGURATION 165
 CPU Cache 163
 CRT ディスプレイの接続 132
 Ctrl キー 34, 35

D

DC IN LED 22, 30
 Del キー 35
 Device Config 165
 Disk LED 22
 DISPLAY 162
 DMA 使用リソース 229
 DRIVES I/O 166

E

End キー 35
 Enter キー 35
 Esc キー 34
 Ext Keyboard "Fn" 160

F

FDD/CD-ROM LED 22
 FLOPPY DISK I/O 166
 Fn キー 34
 Fn キーを使った特殊機能キー 38

H

Hard Disk Mode 161
 Home キー 35
 HW セットアップ (Windows 2000).. 151
 HW セットアップ (Windows NT)..... 152

I

I/O PORTS 165
 I/O ポートマップ 228
 Ins キー 35
 IRQ 使用リソース 229

L

LAN インタフェース 233
 LAN ケーブルの接続 121
 LAN コネクタ 23
 LCD Display Stretch 162
 Level 2 Cache 163

M

MEMORY 158
 MS-IME 14

N

Not Registered 158
 Numeric Mode LED 22

O

OTHERS 163

P

Parallel 165
 Parallel Port Mode 161
 PASSWORD 158

Pause キー	35
PC CARD	166
PCI BUS	165
PC カード	111
PC カードスロット 0	24
PC カードスロット 1	24
PC カードの取り付け	112
PC カードの取りはずし	114
PERIPHERAL	160
PgDn キー	35
PgUp キー	35
Pointing Devices	160
Power LED	22, 30
Power On Boot Select	162
Power On Display	162
PRT インタフェース	230
PRT コネクタ	24
PS/2 インタフェース	231
PS/2 コネクタ	24

R

Registered	158
RGB インタフェース	232
RGB コネクタ	24

S

Serial	165
Service Pack6 のインストール	129
Shift キー	34, 35
System Beep	165

T

Tab キー	34
Toshiba Hardware Setup (Windows 98 / 95)	150
Total	158

U

USB Legacy Emulation	160
USB インタフェース	233
USB 機器の接続	130
USB コネクタ	24

W

Windows セットアップ	48
Win キー	34

ア

アキュポイント	22, 33
アキュポイント の取り扱い	18
アプリケーションキー	35
アプリケーションの再インストール	183
アロー状態	39

イ

インスタントセキュリティ機能	38
インタフェースの仕様	230

オ

オーバレイキー	35
オーバレイ機能	39
大文字ロック	37
オンラインマニュアルの起動	88
オンラインマニュアルの内容	89

カ

外形寸法図	224
書き込み可能状態	103
書き込み禁止状態	103
カスタム・リカバリ CD	18, 178
カナロック	37
画面の手入れ	17
漢字キー	34
漢字変換	41

キ

キーシフトインジケータ	22
キーフロッピーディスクの作成	170
キーボード	22, 34
キーボードの取り扱い	17

ク

クリック	33
------------	----

コ

コントラスト調整ダイヤル	23
コントロールボタン	23, 33

サ

最小構成でのシステムの復元	182
サイドライト用 FL 管	17
サウンド	42
サポートしているビデオモード	225

シ

システムインジケータ	22
システム構成の設定	154
システム修復ディスクの作成	73
シャットダウン機能	76
シャットダウン機能 (Windows 2000) ..	147
シャットダウン機能 (Windows 98)	139
周辺機器の取り付け	100
仕様	19
使用できる CD	107
使用できる PC カード	111
省電力ユーティリティ (Windows 2000) ..	144
省電力ユーティリティ (Windows 95) ..	140
省電力ユーティリティ (Windows 98) ..	136
省電力ユーティリティ (Windows NT) ..	148
照明	27
消耗品	19

ス

スーパーバイザパスワード	167
スーパーバイザパスワードの削除	173
スーパーバイザパスワードの登録	172
スーパーバイザパスワードの変更	174
数字ロック	39
スクロール	33
スクロールボタン	23, 33
スクロールロック	39
スタンバイ機能	76
スタンバイ機能 (Windows 2000)	147
スタンバイ機能 (Windows 98)	139
スピーカ	22
スペースキー	34

セ

制御キー	37
製品仕様	224
セキュリティロック・スロット	23
セットアップ (Windows 2000)	59
セットアップ (Windows 95)	54
セットアップ (Windows 98)	48
セットアップ (Windows NT)	67
セットアッププログラムの画面	156
セットアッププログラムの起動	154
セットアッププログラムの基本操作	157
セットアッププログラムの終了	155
セットアッププログラムの設定項目	158
全候補キー	35

ソ

増設メモリ	116
増設メモリスロット	24
増設メモリの取り付け	116
増設メモリの取りはずし	119
外付けキーボードの接続	133

タ

ダブルクリック	33
---------------	----

ツ

通風口	23
-----------	----

テ

ディスプレイ	22
ディスプレイ開閉ラッチ	22
電源コード	23
電源コードの取り扱い	17, 28
電源コネクタ	23
電源スイッチ	22
電源スイッチロック	22
電源に関する表示	30
電源への接続	28
電源を入れる	46
電源を切る	76

ト

特殊機能キー	40
ドラッグアンドドロップ	33

ナ

内蔵バッテリー	95
---------------	----

ニ

日本語入力システム	41
日本語入力システムの起動	41
入力モード	41

ネ

ネットワーク設定 (Windows 2000) ..	125
ネットワークの設定 (Windows 98 / 95) ..	122
ネットワークの設定 (Windows NT) ..	126

ハ

ハイバネーション機能	76
ハイバネーション機能 (Windows 2000)....	147
ハイバネーション機能 (Windows 95)...	142
ハイバネーション機能 (Windows 98)..	139
パスワードセキュリティ	167
パスワードとして使用できる文字	168
パスワードの入力	176
パソコン使用時の環境	26
パソコン使用時の姿勢	26
パソコンの使用方法	27
パソコン本体の取り扱い	15
パソコンを設置する環境	26
バッテリー充電量の確認	92
バッテリーに関する表示	32
バッテリーの充電時間	31
バッテリーの充電方法	31
バッテリーの使用時間	94
バッテリーの節約	98
バッテリーパック	25
バッテリーパックの交換	95
バッテリー未使用時の保持時間	94
パネルスイッチ機能 (Windows 2000)....	86
パネルスイッチ機能 (Windows 95).....	81
パネルスイッチ機能 (Windows 98).....	79

ヒ

表示不良画素	17
標準システムの復元	179

フ

ファンクションキー	34
プリンタの接続	131
フロッピーディスク	103
フロッピーディスク装置	22, 103
フロッピーディスクのセット	104
フロッピーディスクの取り扱い	15
フロッピーディスクの取り出し	104
フロッピーディスクのフォーマット	105

へ

ヘッドホン出力端子	25
-----------------	----

ホ

ホットインサージョン	111
ボリュームダイヤル	23, 25

マ

マイク入力端子	25
マウスの接続	101
マウスポインタ	33

メ

メモリマップ	227
--------------	-----

モ

文字キー	36
------------	----

ヤ

矢印キー	35
------------	----

ユ

ユーザ登録	75
ユーザパスワード	167
ユーザパスワードからの起動による 制限事項の設定と解除	175
ユーザパスワードの削除	170
ユーザパスワードの登録	168
ユーザパスワードの変更	171

ラ

ライトプロテクトタブ	103
------------------	-----

リ

リカバリ CD	18, 178
リリース情報	18

ロ

ローマ字キー	35
--------------	----

